

自治会 第62号 あつぎ

目 標

- ◎みんなの手で育てようあすの自治会を
- ◎地域づくりは市民の民主的・自発的活動から
- ◎行政と共同で築く豊かな文化

平成24年10月1日発行

発行 厚木市自治会連絡協議会
 編集 厚木市自治会連絡協議会広報部会
 電話 046 (225) 2101

ネットは

「3・11を忘れるな」
 ～今こそ、地域防災を考える～

厚木市自治会連絡協議会

東日本大震災を教訓に、市の防災計画が見直されました。次なる大規模災害が危ぶまれる中、地域防災を担う自治会として「何ができるか」をもう一度、考えます。

昨年の震災では、地域で助け合う「共助」の重要性が再認識されました。中でも、地域づくりを担う自治会は、共助の要。その役割が注目されています。

最悪を想定した市の計画

発災から見直しを進めてき

昨年の震災では、地域で助け合う「共助」の重要性が再認識されました。中でも、地域づくりを担う自治会は、共助の要。その役割が注目されています。

市の地域防災計画がこのほど完成し6・7月、市内15地区で開かれた防災セミナーで、その概要が示されました。計画は、南関東地震など最悪の事態を想定したもので、備蓄品や避難所の整備、外部支援、情報伝達など、行政が



防災訓練の様子。地域性に合わせた訓練が課題



「防災セミナー」には総勢900人が参加した

担う「公助」の部分を中心に見直されていました。

自治会に求められること

大規模災害では、公助が全てに及ぶとは限りません。そのためにはまず、自分の命は自分で守る「自助」が不可欠。そして、助かった者たちで助け合う「共助」が必要です。自助と共助、公助をいかに連携させるかが鍵となります。共助を担う自治会としては、地域に合った訓練をしたり、備蓄品や救助資機材を用意したりすることも大切な備え。何よりも、日ごろの交流を通じて、住民相互の連帯感を育むことが必要です。地域に住む子どもから高齢者までが、安心して暮らせる地域づくりをこれからも進めていきたいと思います。

平成24年度役員紹介

会長 大久保盛造(厚木南)
 副会長 小瀬村泰久(南毛利)

会 計 前場 政行(玉川)

庶 務 尾崎 常雄(狹野)
 鈴木 暁司(厚木北)
 梅津 達幸(依知北)

井上 慎一(依知南)
 山之上郁子(睦合北)

山 村 勝美(睦合南)
 千田 綱生(睦合西)

平本 恭尚(南毛利南)
 神保 忠男(森の里)

理事 小菅 和夫(相川)
 古長 重幸(緑ヶ丘)

齋藤 博義(厚木北)
 三田 哲夫(厚木南)

甘利 雅雄(依知北)
 渡邊 勝三(依知南)

山本 勉(睦合北)
 石井日出男(睦合南)

和 田 勝(睦合西)
 井上 修一(狹野)

林 元春(狹野)
 井上 正美(小鮎)

前田 満(南毛利)
 佐藤 文彦(南毛利)
 石井 誠吾(南毛利南)
 宮内 一男(玉川)
 中島 滋(森の里)
 山口 重治(相川)
 佐々木安雄(緑ヶ丘)

安心安全な広場管理

厚木南地区
旭町一丁目自治会
会長 二田 哲夫

地域住民の健康増進と、青少年の健全育成を目的に、相模川河川敷の約2万1千平方メートルを利用して、昭和52年にソニー裏側民有地の一部と、県当局に河川敷使用の占用許可を得て、厚木南地区に待望の「厚木南青少年広場」と「旭町三丁目スポーツ広場」が完成しました。

数年前から川沿いに遊歩道も整備され、完成間近です。全コースを周回すると、約1キロメートルあり、地元の散歩愛好家が毎日利用して大変好評です。

1月は、厚木南地区自治会



広場での除草風景

で「どんど焼き」、3月からは三種球技大会と「桜まつり」、5月から7月までは堤防斜面と河川敷でのバラ園が見ごろです。青少年広場は、ソフトボール場3面、ゲートボール場2面、ドッチボール場1面を有し、誰でもご利用いただけます。スポーツ広場は最近、少年サッカーが盛んで、ちびっ子たちの対外試合も見られて、大変にぎやかです。

広場を誰もが安心して利用できるように、自治会や体育振興会、広場利用者などからなる管理運営委員会を設け、年4回の草刈り、除草、清掃を全員参加で行っています。また、毎週土曜は役員によるパトロールも実施しております。これからも、誰もが安心して利用できる広場管理を続けていきたいと思えます。

通学路における

児童等の安全確保

依知北地区
山の根自治会
会長 甘利 雅雄
新開自治会
会長 川崎 勲

最近、通学路における、児童や生徒の登下校時の人身事故や車両事故が相次ぎ、これを受けて、警察庁をはじめ、



新開地区への直進車両の時間帯規制措置

文部科学省、国土交通省の「通学路における緊急合同点検」が全国一斉に行われています。すでに厚木市においては、平成23年7月にセーフコミュニティの二テイの一環として「交通事故故ゼロ」運動が展開され、危険な個所の早期点検と検証を実施してきました。当地区では危険個所のプライオリティ1付けにより、5カ所に絞り込み、市へ提言してきたところです。

その中で特に、添田商店前交差点から新開地区への進入路は、朝のラッシュ時には、迂回ルートとして車や自転車が通るが多く通り、児童とのすれ違いにおいて、接触する危険性が高く、車両事故も後を絶たず発生していた場所です。このため、市内全地区に先駆けて、厚木警察署の協力を得て、山の根地区から新開地区

への直進車の時間帯による交通規制が、平成24年5月下旬から実施されたため、学童の通学時における安全確保へつながりました。今後私たちが依知北地区では、危険個所のない、安心で安全なまちづくりを目指し、さまざまな角度から地道な安全活動の点検を継続し、邁進していききたいと思います。

自治会としての 取り組みについて

睦合南地区
そりだハイツ自治会
会長 小林 勝徳

自治会が誕生したのは昭和54年4月。市内ではまだ新しく、今年で33年目となります。自治会長は私で7人目。総世帯数478世帯に対し、今年5月での自治会加入数は457世帯(95・6%)、1,105人です。このうち、高齢者世帯が15・4%で災害時要援護者世帯が22・1%。高齢・単身・夫婦だけ世帯の多さと、災害時要援護者世帯は高齢者世帯だけではないということが分かります。

今年度の目標は、「一声挨拶・嫌な思いで嫌々やつても、1年ならば井戸端話ができる



今年度新たに始めた救命救急措置講習会の様子。25人が参加した

お友達を1人でも増やしてみませんか。隣近所同士どんな些細なことでも話をして、互いの気持ちを伝えましょう。また、自治会では、「納涼祭」と「ふれあい文化祭」を実施しておりますが、ボランティア協力者が年々高齢化し、次の世代に引き継ぐ事が急務となる中、いい手立てが見つからないのが現状です。今年度は、議員の方々に親子での参加を呼び掛けましたが、結果はまだ出ていません。

今後の課題として、そろそろ大きな地震が起きる可能性が高いとされています。集合住宅に合った防災対策を確立し、災害時に「誰が、いつ、どのような時に、誰に、何を指示するか」を具体的にすることや、災害時要援護者世帯に対する支援方法の確立、ボランティアの支援などを自治

会員の意見を聞きながら進めていきたいと思います。

行事参加で 連帯意識の高揚を

荻野地区
みはる野自治会
会長 小本 寛司

私たちがみはる野自治会は、住んで安全、近隣諸氏が互いに楽しく共生できる、そんなまちづくりを心掛けて活動しております。ここ6年でほぼ入居も完了。一挙に住民も増加し、現在1,130世帯を数える住宅地となりました。班長は1年任期で現状、平均15人の班が88班で当該年度の役員を構成。自治会活動を運営しております。

子どもからお年寄りまでが、「みはる野に住んで良かった」を胸に、みはる野独自の行事を開催しております。

6月潮干狩り、8月夏祭り、10月自治会館での敬老事業、12月フリーマーケット、1月どんど焼き等々、老若男女多くの地区住民の参加を頂き、盛大に行っております。

みはる野は、他地区に比べて年齢層も低く、自治会発足11年余りの歴史の浅い新興の地区。代々住み暮らす他の自

治会の方々には比べると、地区意識や共に助け合う共助の感覚が若干、希薄なようです。

住民の皆さんが、みはる野自治会独自の行事に参加いただくことで、少しでもみはる野地区民の連帯共生意識の高揚につながれば、との思いで活動を行っております。

いざというときに 助け合える関係づくりを

荻野地区
とおお24街区自治会
会長 有路志津子

厚木市の北西部にある鳶尾山の南斜面に、住宅公団が開発した鳶尾団地があります。とおお24街区自治会は、その団地にある8つの自治会の一つです。

私が自治会長になって2年目を迎えました。荻野地区30自治会の中でも、女性自治会長は私が初めてです。慣れないことに戸惑うことばかりでしたが、皆さんのおかげで、何とか務めを果たすことができています。

鳶尾団地は開発されてから35年経ちましたが、これまでの先輩の皆さんが培ってきた街区の底力には驚かされることが多々あります。朝のゴミ



みんなでお祭りの準備

集積所での会話で、「最近〇〇さんを見かけないんだけれど？」という声が聞かれると、近所の方が、「新聞がなくなっているから大丈夫」と教えてくれました。安否が確認できて一同一安心でした。

また、「ふれあい納涼祭」のボランティアの募集にも、毎年大勢の方が集まってくださいます。ちょうちん付け、テント張り、盆踊りの練習など、皆さんの善意に支えられて納涼祭が続けられてきたことに感動してしまいます。

お隣さん同士がいざという時に助け合える関係づくりが、これからますます必要になってくることでしょう。住民の皆さん全体に見守りが行き届くようにしていきたいと思えます。

地域で活躍する 白龍太鼓35周年

小鮎地区
橋場自治会
会長 西海 幹男

今年35周年を迎えた飯山地区の郷土芸能「白龍太鼓」を紹介いたします。白龍太鼓は、飯山温泉内でのお座敷芸能として、昭和52年に産声を上げました。初打ち込みは「第13回あつぎ飯山桜まつり」。米軍軍楽隊が友情出演するなど盛大に催され、多くの来場者を魅了しました。翌年には、神奈川県民俗芸能50選にも選ばれ、市内外からの公演依頼に多忙な活動が続きました。

しかしその太鼓も、数年後には会員不足となり、活動が衰退。白龍太鼓を存続させるため、子ども会活動として文化発表会で披露するようになりました。

地道な活動が実を結び、平成元年には「白龍太鼓子ども連」を結成。新たな活動が始まりました。「ねむの木学園」のコンサートをはじめ、市の成人式や老人ホームでの公演など、多くの方に喜ばれ、子どもたちも一生懸命太鼓を頑張るようになりました。

近年では、第1回東京国際

和太鼓コンテストで、青少年の部、一般の部で、共に上位に入選。平成16年から国宝松本城太鼓祭りに3回招かれるなど、白龍太鼓の技術が多くの方に認められ、市を代表する郷土芸能となりました。日々の活動の中では、白山清掃や花の植栽事業など、地域行事にも積極的に参加しております。

本年4月には、厚木市文化会館で記念公演を開催する事ができ、多くの来場者に和太鼓の魅力を感じていただけたと思います。これからも、飯山の伝統を絶やすことなく、地域を上げて支援していきたいと思えます。



ことし4月、文化会館で開催した記念公演。来場者は千人を超えた

地域の名物行事
「あつき飯山あやめ祭り」

小鮎地区
日枝辻自治会
会長 嶋田 伸
日枝上自治会
榊原 勇城

日枝(上・下・辻)自治会では、会員相互の触れ合いと潤いある生活を考えながら、さまざまな活動を展開しています。毎年6月に開催される「あやめ祭り」への参画もその中の一つです。

会場となる「あやめの里」では、地区内の休耕田5畝を利用して、地元のボランティアの皆さんがアヤメ約3千株を育てています。白や紫の花が咲き誇り、「かながわ花の名所百選」にも選ばれています。開花に合わせた祭りは、今年で19回目。自治会も実行委



3千株が咲き誇る「あやめの里」

員として加わります。当日は、アヤメの即売会やモデルを招いた写真撮影会に、市内外から多くの愛好家たちが訪れ、にぎわいます。特設の舞台では、地元の白龍太鼓の演奏や深山会の演舞、芸妓衆の花見踊り、歌謡ショーなどが催され、地域住民の交流の場にもなっています。

自治会では、草刈に協力するなど、地元の新しい名所づくりに関わっています。今後なども、こうした地域資源の活用ながら、地域づくりを盛り上げていきたいと思えます。

住みよい地域
参加しやすい自治会

南毛利地区
高坪連合自治会
会長 神崎 吉男

高坪連合自治会は、温水西地区にあり、近くには田んぼ、恩曾川と自然豊かな位置にあります。会員数は、740世帯。住宅地開発で転入者が増えています。「安心・安全のまちづくり」で、誰でも参加できる自治会を目指しています。

4月の「ふるさと祭り」(春日神社例大祭に合わせて)では、子どもと大人の神輿が地



防災訓練の様子

区内を回り、一日を楽しく過ごします。7月の盆踊り大会では、各種団体による模擬店などで盛り上がり、会場は人があふれる状態です。

9月の防災訓練は、自主防災推進員による消火器や三角布を使った、消火・救護訓練、竹さお毛布を使用した救出訓練、婦人たちによる炊き出しを行います。避難場所の運営、防災倉庫の把握も必要です。

10月の運動会、歩け歩け大会には積極的な参加を呼び掛け、親睦を深めています。1月は賀詞交歓会、どんど焼きを同日に開催。役員による無病息災を祈願した点火では、飾り付けに炎が2メートル余り立ち上がります。

また、年間を通じて防犯パトロールを毎月第3土曜に実施しています。青パト隊、歩

犯罪のない
明るい地域をめざして

南毛利地区
浅間山第一自治会
会長 立脇 主計

浅間山第一自治会は、温水地区の北部に位置し、恩曾川の左岸、小鮎地区と隣接しております。一部は調整区域で田んぼの風景、緑地帯のある昔日の面影を残しております。

年間行事などの計画立案は、第一、第二自治会でそれぞれ役員を選出して共同会議で検討後、年度総会に諮り承認を得て協同で活動しております。

4月の浅間神社祭典は、神社総代、年番役員、神輿の会、各種団体が一致団結してお祭りを盛り上げます。前夜祭では、カラオケや日本舞踊で盛り上がり、当日は、囃子太鼓の先導で、大人と、子どものみこしを繰り出し、みこしが来るのを待っている人々に喜んでもらっています。

8月は納涼祭盆踊りで老若

男女が輪になって踊り、子どもたちは模擬店でのどを潤しゲームなどを楽しみます。11月は、家族ウォーキング大会。日ごろの運動不足を解消し大空の下で食事をして最後に豚汁で体を温めます。

1月は、どんど焼きで甘酒や豚汁を食べてだんごを焼き、一年間の家内安全、無病息災を祈ります。年間を通じて地区内の防犯、夏休み期間中の各種団体合同の愛のパトロール、防犯灯の球切れ、照度アップ、新規設置など、積極的に行政に働き掛けをしております。自助、共助、公助の必要性の啓発、地域の安心・安全のため会員の皆様方のご理解とご協力を得て、犯罪のない明るい浅間山を目指して努力してまいります。



ミニデーの風景